

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成19年5月24日(2007.5.24)

【公表番号】特表2006-525152(P2006-525152A)

【公表日】平成18年11月9日(2006.11.9)

【年通号数】公開・登録公報2006-044

【出願番号】特願2006-509551(P2006-509551)

【国際特許分類】

B 3 2 B 9/00 (2006.01)

B 3 2 B 27/36 (2006.01)

H 0 5 B 33/02 (2006.01)

H 0 5 B 33/04 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

【F I】

B 3 2 B 9/00 A

B 3 2 B 27/36

H 0 5 B 33/02

H 0 5 B 33/04

H 0 5 B 33/14 A

【手続補正書】

【提出日】平成19年4月2日(2007.4.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

H S P E TのT g以上のT gを有する第1のポリマー層によってオーバーコートされ、そしてH S P E TのT g以上のT gを有する少なくとも1つの第2のポリマー層によって分離された少なくとも2つの可視光透過性無機バリアー層によってさらにオーバーコートされている、H S P E TのT g以上のT gを有する可撓性の可視光透過性基材を含んでなるバリアーアセンブリーであって、23 および90% R Hで0.005 c c / m² / 日未満の酸素透過率を有するバリアーアセンブリー。

【請求項2】

基材が、P M M AのT gより高いT gを有する、請求項1に記載のバリアーアセンブリー。

【請求項3】

少なくとも1つの無機バリアー層が金属酸化物を含んでなる、請求項1に記載のバリアーアセンブリー。

【請求項4】

アセンブリーの少なくとも一部が、導電層または電極によってオーバーコートされている、請求項1に記載のバリアーアセンブリー。

【請求項5】

H S P E TのT g以上のT gを有するポリマー層によってオーバーコートされ、そしてH S P E TのT g以上のT gを有する少なくとも1つのポリマー層によって分離された少なくとも2つの可視光透過性無機バリアー層によってさらにオーバーコートされている、H S P E TのT g以上のT gを有する可撓性の可視光透過性基材を含んでなるバリアーア

センブリーによって少なくとも部分的にカバーされた、感湿もしくは酸素感応性光源または光弁を含んでなるディスプレイまたは照明デバイス。